大牟田ちゅうおう

令和7年11月1日発行
発行責任者　萬矢勝保

まち協だより

第２４号

夏休み　みんなでラジオ体操

「夏休み　みんなでラジオ体操！」を大牟田中央小学校で8月20・21・22日の３日間開催しました。ご参加くださった皆さま、本当にありがとうございました。

「おはようございます」と声を掛け合い、大人も子どもも一緒に体を動かすのはとても気持ちが良いものですね。

初日は田上校長先生も参加され、子ども達は大喜びでした。夏休みのラジオ体操の経験がない子が多い中、２日目からはハンコ係を務めてくれたり、嬉しそうにお菓子をもらったりで子ども達は朝から元気でした。

また、地域の方から多くのご協力をいただきました。

前列でお手本を見せてくださったラジオ体操マイスター様、お菓子をご提供くださった中央小ＰＴＡ会長、そして「このラジオ体操のために」早朝から自発的に見守りをしてくださった方々、お菓子配りのお手伝い等など・・・お気遣いに心から感謝申し上げます。

３日間の開催でしたが、日に日に参加者は増え、最終日には子ども41人、大人を含め１００人程の方にお集まりいただきました。

体操後の皆さんの笑顔を見て「また来年も」と思わずにはいられませんでした。

この輪が地域のあちこちに広がれば良いなと感じています。

私たち中央校区まち協は、地域の皆さんと一緒に活き活きとしたまちづくりをしていきたいと思っています。

ご参加ありがとうございました。

（主任児童委員　今田真澄）









困った時の問合せ先

大牟田警察署	火事・救急	中央地区地域包括支援センター
0944-43-0110	119	0944-41-2676

みんなのまつり2025

今年は大牟田中央校区まちづくり協議会の新たな行事として第1回目の大牟田中央校区『みんなのまつり』を開催しました。まずは事故なく無事に終える事ができて安心したところです。

今回は4の団体・企業様、36名の個人様、そして協力金箱にも、たくさん協力をしていただきました。皆様の協力、応援が励みとなって地域の祭りを続けることが出来ているという事に感謝しております。

また、祭りに参加協力していただきました多くの皆様にも重ねて御礼申し上げます。







本当に暑い中お疲れさまでした。

当初8月9日の予定でしたが、雨で16日に延期となりました。周知が上手く出来ていないのではないかと心配でしたが、おかげさまで多くの方に来場していただき楽しい時間を過ごすことが出来たと思っています。

色々と課題もありますが、これからも『こどもたちを笑顔にして人の繋がりを作ろう』のキャッチフレーズのもと、人のつながりが出来るような、中央校区のまつり運営を続けていけたらと実行委員一同考えておりますので、今後とも地域の皆様のご協力よろしくお願い致します。

来年もみんなで花火を見上げて心繋がっていきましょう！

（森　龍一郎）





ご協賛頂いた企業・団体

順不同・敬称略

不知火公民館
上二南公民館
上宮公民館
正山町公民館
花園公民館
谷・元・出雲町公民館
上三北公民館
乙宮神社
グランドホテル清風荘
飯田クリニック
井上内科クリニック
昭和住宅(株)
圓佛産業(株)
(株)希春
新開建設(株)
㈱ヤヨイサンフーズ九州工場
サイトウカーテン
安藤皮膚科医院
古賀質舗本店
(有)岡本事務用品
トゥールの四月
古賀整骨院
(有)隈部建設
(株)緒方材木店
(有)森松尚文堂麒麟書店
丸長不動産
嶋田歯科医院
エム・ケー企画
(株)平田不動産
(有)バイクショップ三井
Ｃｕｒｖｓｅｓ　カーブス
(株)長電化空調サービス
ベスト技研(株)
(株)ｃｏｃｏｓｕｍｉ
フロレセール
ドゥース
吉岡クリニック
白石石油(有)
(株)佐脇建設
城崎(株)
河野レディースクリニック
向坂眼科医院
大牟田ガス(株)
(有)シーエス・化成
スナックマキシモル
(株)ナガノ
日蓮宗信行教会
ＡＶショップ上官
セブンイレブン笹林店
セブンイレブン三池工業前店
(株)三池テント広告
坂西医院
上龍会
大牟田中央分団

ほかにも沢山の個人の方々よりご協賛いただいております

これからの予定

グランドゴルフ大会　11月2日（日）



予備日 11月9日（日）
大牟田中央小学校
グラウンド

ほっとあんしんネットワーク模擬訓練



校区独自　11月8日（土）
10時～12時
大牟田中央小学校

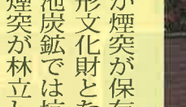
eスポーツ、ニュースポーツ
アイマスク体験・高齢者擬似体験
車椅子体験・声かけ訓練・ミニ講話

親睦日帰り旅行　11月23日（日）



行　先：つかさの湯
負担金：3,000円

子ども食堂　毎月第3土曜日
11時30分～13時
中央地区コミュニティーセンター
（旧上官小学校）



次回は　11月15日（土）

＊詳細お問合せは各公民館長さんへ

料理教室開催

大牟田中央校区まちづくり協議会主催健康づくり料理教室が9月28日（日）午前9時から中央地区公民館の和室と料理室で開催されました。同時に、大牟田市中央地区地域包括支援センター健康測定会も行われました。

料理教室では大牟田市健康づくり課管理栄養士の指導で「バランスの良い食事で生活習慣病を予防しよう！」を目指しました。参加された皆さんは栄養バランスのとれたおいしい食事に満足されていました。



地域再発見

宮浦石炭記念公園（西宮浦町）　大牟田市立図書館館長　山田元樹

♪月が出た出た、月がぁ出たぁ、よいよい♪で歌い出す「炭坑節」、全国津々浦々の盆踊りを席巻したこの唄の歌詞は♪三池炭鉱ぉーの上にぃ出たぁー♪と続きます。ところが、昭和37（1962）年5月11日にはKBCテレビで「炭坑節―田川と大牟田の本家争い」という番組が放送され、その中で、当時の細谷治嘉大牟田市長は筑豊を本家と認めて、その論争に終止符が打たれた、ことになっています。

宮浦石炭記念公園は市民憩いの場、また、三池炭鉱宮浦坑の遺構を保存・整備し、炭鉱の歴史を伝える場として、平成8（1996）年10月31日にオープンしました。宮浦坑は三池炭鉱の中でも長く操業された坑口です。開坑は明治20（1887）年、いまだ官営の時代でした。初めは第一立坑のみでしたが、大正8（1919）年に第二立坑、大正13年に大斜坑が完成するなど、充実していきました。有明海海底下にまで及ぶ広い採掘区域を擁し、切羽の遠隔化に伴い昭和44年三川坑構内に事務所を移転しました。昭和52年三川坑に統合され、宮浦坑は独立坑としての命脈に終わりを告げました。

公園内には遠くからでも目立つシンボルとして、れんが煙突が保存されており、国の登録有形文化財となっています。かつての三池炭鉱では坑口ごとに何本ものれんが煙突が林立していましたが、今残るのは宮浦坑煙突ただ一本です。発祥はどうあれ、三池炭鉱が歌い込まれたことで炭坑節が全国区になりえたことを考えれば、その世界観を今に伝える貴重な存在なのです。ほかに大斜坑口が保存されており、第一立坑跡の表示、斜坑人車、ドリルジャンボやサイドダンプローダーなどの炭鉱機械も見学できます。

今はなきネイブルランドは最終的に岬町の現・帝京大学福岡キャンパスの場所に建設されましたが、構想当初は宮浦坑跡が候補地でした。歴史に、たらればや、もしは許されませんが、宮浦坑の本物の坑道を活用したエンターテインメントが実現していたなら・・・と夢想してしまいます。



上三北公民館　「防災お茶会」

懇親も兼ねてお茶を飲みながら災害や緊急時、そして防災について学び・深め合う「防災お茶会」の第1回目を6月28日（土）に開催しました。

防災士の資格をお持ちの中央地区地域包括支援センターの由布貴裕さんをお招きして「防災と緊急用の連絡先について」のお話しをして頂きました。

今回の内容で、「緊急時の連絡先」を取り入れたのは、当公民館の多くが高齢者世帯で一人暮らしも多いため、緊急時に頼る先を整理しておく事は、すぐに出来る対策でもあるからです。

また、「包括支援センター」のことをもっと知って身近に感じてもらうためにも、この機会に防災（緊急時の連絡先の重要性）からお年寄りさんの困り事の支援まで一括してお話し頂けて、とても良かったです。

また、お話の中で「もしもの時の連絡票」を作っておくことを提案してもらいました。その場でお配りした「もしもの時の連絡票」用紙は、お年寄りさん宅の電話のそばに貼ってもらうことをイメージして、記入しやすく、ぱっと見てわかりやすいものを由布さんに作ってもらったもので、上三北公民館オリジナルです。他にもほっとあんしんネットワークへの事前登録などの取組み等を教えて頂きました。

後半は、「災害の体験を聞かせてください（こんな事で困った、こうした方が良いと思った事）」として、参加の方からもざっくばらんにお話していただきました。

当地域内での災害・緊急事態…近年では水道管破裂による断水や豪雨災害、火事、今年2月の早朝、細い路地で認知症の方が倒れてあった時の話などが挙がり、疑問・質問には由布さんがひとつひとつ丁寧に答えてくださいました。

また「大牟田市の防災マップ」を配布したところ、ハザードマップで勤務先からの帰宅経路も確認しておくといい等、参加の方からも意見が出るなどして皆で話し合うことが出来、種々の気づきがありました。

どこにどんな家族構成の世帯が暮らしているか…お互いの顔が見える地域だと、特に緊急時により早く支援が届きやすくなるという声もあり、地域としての大きな意味のひとつに辿り着きました。

最後は、由布さんと同行の薗田さんのお二人から「フレイル予防体操」と「脳トレ」をみなさんと一緒に実践し、笑いもたくさん起こり賑やかに終わることができました。

（今田　一）







谷元出雲町公民館　「避難訓練」

私達、谷元出雲町公民館では「人と人とのつながりを大切にする」ことを目的として、公民館総会や避難訓練、そしてだれもが参加できる「ふれあいの集い」を行っています。今年の7月6日（日）には第2回目の避難訓練を行いました。5人一組になって、簡易トイレの組み立てを実際に行ったり、その排尿の処理の仕方を学びました。見るのとやるのとでは大違いで、皆さん一生懸命に頑張ってました。

その後防災グッズにはどのような物があるかについて実物を見てもらい、最後に非常食の試食会を行いました。食べてみるとなかなか美味しくて満足していただき楽しい避難訓練が開催できました。

今、どこで、何時災害が起きてもおかしくない状況です。また、一人暮らしのお年寄りも多くなっています。地域のなかで日頃からの繋がりを大切にして、助け合える公民館になればと願っています。

（原　正信）

